

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	教育センター所長	市川 昇一郎
教育-38 調査研究研修事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	教育センター
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針
			教育内容・教育環境の充実

1 事業の目的

対象	市立小・中学校の教職員
意図	教育の今日的課題の解決に向けての研究・研修を進め、教育活動の支援を行うため。
効果	教職員の資質の向上を図り、今日的課題の解決能力を高める。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・教職員並びに幼稚園・保育園の職員等で研究会を組織し、教育現場の諸課題についての研究を行うとともに、幼児教育との連携を図った。 ・教育現場の諸課題に対応し、その解決を図るための研修会を実施した。 ・校内研修に講師を派遣し、授業・講義等を行い、学校の諸課題の解決を支援した。 ・教育指導員を学校に派遣し、教職員への指導・助言を行い、その資質・指導力の向上を図った。
--

3 事業費等基礎データ

人口等のデータ	データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備考
	人口	177,464人	177,243人	人口	176,869人	
世帯数	80,368世帯	80,676世帯	世帯数	80,928世帯		
運営資源状況	事業の対象者数			事業の対象者数		
	決算値(千円)	3,460	4,686	当初予算(千円)	4,918	
	国県支出金			国県支出金		
	地方債			地方債		
	その他			その他		
	一般財源	3,460	4,686	一般財源	4,918	
事業経費運営	人員配置数	3.0	3.0	人員配置数	3.0	
	人件費(千円)	22,726	23,404	人件費(千円)	23,371	
	総事業費(千円)	26,186	28,090	総事業費(千円)	28,289	
	市民1人当りの経費(円)	148	158	市民1人当りの経費(円)	160	
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー NPO法人 民間企業等

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	指導力の向上や喫緊の課題に対応した研修会を充実させる。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				事業へ統合

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	教育の今日的課題に即応できるよう研修の充実を図るとともに、講師料の増額も検討したい。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>授業力の向上や学校における諸課題の解決等教員の資質向上に向けて、研修会を行った。</p> <p>平成27年度は小中全校で学校支援研修会を開催し、授業づくりや教育課程、児童生徒理解に係る研修を行った。</p> <p>また教育指導員を派遣することにより、経験の浅い教員の指導力、授業力の向上に努めることができた。</p> <p>今後も研究研修の質の向上を図っていきたい。</p>
-------------------	--

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	学校の今日的課題に即応できる研修会を充実させる。 研修内容、研究成果を学校教職員に還元、活用等充実を図る。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	児童生徒理解研修会や危機管理対応能力育成研修会を開催し、発達障害やネット依存等今日的課題について研修会を開催した。研修内容、研究成果についてDVD化を図り、希望する学校への配布を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	多忙な教職員が参加しやすい研修体制について検討していく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	各学校の課題解決のための研修内容の満足度						単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
研修内容の質を高める。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値	80.0	85.0								
	達成率	80.0%	85.0%								
指標の内容	各学校の課題解決のための研究推進の満足度						単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
研究の充実と質を高める。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値	50.0	55.0								
	達成率	50.0%	55.0%								
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---